

電動夏子安置システム 第37回公演

第28回下北沢演劇祭参加作品

「3483」

2018.2.7.[wed] ~ 12.[mon]

訳前劇場



電動夏子安置システム
<http://dsa-systems.com>
info@dsa-systems.com

【ご挨拶】

ご来場誠にありがとうございます。

改めて当劇団のやってる事を紹介しますと、「ロジカル・コメディ」というジャンルを勝手に設定し、誰から頼まれたわけでもなく勝手にやっております。

「ロジカル・コメディ」=「論理喜悲劇」という、これまた勝手な字を当ててみました。

喜劇を創っている劇団というと、終始ドッカンドッカンと客席を沸かせている様にも思えますが、当劇団の場合、物語が悲劇的な事が多いです、客席の笑い声より空調の音が多い瞬間も多々あります。時として、「これはコメディなのか？」という是非もありますが、悲劇的な状況の中で見せる人間の必死なものがきと本性が、喜劇を生む可能性がある、という私の底意地の悪い性格がそのまま表れてしまっているわけです。

さて、当劇団に限らず、チラシに掲載されているあらすじの様な文面に関してですが、実際観おわってみると「全然違うじゃねえか」とか「殆ど関係ねえじゃねえか」みたいに、結果的に「嘘」だったという事があつたりもします。

大抵が、脚本を書き始める前に世に出してしまうものですから、結局出来上がったものとあまり関係がなかったり、内容にズレがあつたりする。という悪習に起因するものでしょう。

でしょう。とか他人事の様に言ってますが、私にも身に覚えがあります。

中にはそれを恐れるあまり、文面からは話の内容が一切、察する事ができない、非常にポエティックなものも見かけます。

何故ここで、紙面を割いてこんな話題を出すかと申しますと、皆様にお詫びがございませぬ。

今回の「3483」のチラシに掲載したあらすじの様なものも、「嘘」でございませぬ。

「嘘」は語弊がありますね、思いこみによる「間違い」です。

この内容が物語と関係ないわけではありません。

寧ろ大いに関わってくるのですが、それは本来の物語ではありません。

これから皆様には、この物語の正しい姿は何であるかをご覧頂きたいと思ひます。

そしてそれは必ずしも喜劇的なものではないかもしれません。

何せ、実際にあつた出来事なのですから。

それでも、ひたすらもがいて「生」を見出す人間の純粋な姿に、一喜一憂して頂ければ幸いです。

電動夏子安置システム
主宰 竹田哲士

冒険小説が好きだった。

スウィフトやヴェルヌが連れて行ってくれた場所は、それが例え架空なものであっても魅力的であったし、この狭い島国に居ながらにして、広くて多様な世界を想像する事ができた。

中でも好きだったのは、孤島でも絶望する事なく生き抜いたロビンソンという男の漂流譚で、

その姿に憧れて、何度も借りて読んだものだ。

いつか飛行機乗りになって、大海原に浮かぶ未知の島や国を巡ってみたい。

その夢を叶える為、彼はパイロットを目指した。

操縦技術を会得するのは決して簡単な事ではなかったが、その話は別の機会に譲るとする。

数年後、必ずしも望んだ形ではなかったが、彼の操縦するプロペラ機は、夜明け前のまだ暗い海へと飛び立って行くことになる。そこからの事はよく覚えていない。

彼は、ベッドの上で目を覚ました。

自分がどうしてここにいるのか、そもそもここがどこなのか、思い出せずにいた。

それでも窓の外に広がる景色には何となく馴染みがあった。

作者や題名は忘れてしまったが、そうだ、昔読んだ冒険小説に出てきた、一風景に酷似している。

南緯34度、西経83度に浮かぶ架空の島。

そこは、国中の死刑囚たちが集められ、共同生活を送りながら、死して罪を償うその日をただ待つだけの監獄の島。

物語の中で、絶対的な権力を持った支配者が君臨する島だったはず。

その支配者の名も確か、

そこまで思いを馳せた所で、女の声が現実に戻す。

「ここはロビンソンという男が支配する島。」

これが彼と、島の住民との初めての接触であった。

これはとある飛行機乗りの滑稽でやがて悲しい漂流譚。

※本公演チラシより抜粋

【ロビンソンの庭】



太平洋上にある個人所有の島。

面積は179km²で、島自体が490万年前から活動した棚状火山であるがすでに活動は終え、山体は東側に大規模な地すべりで崩壊している。

1864年、シンクレア夫人が、現地の酋長からピアノ1台と10,000ドルで、島民付きでこの島を買取った。

以降、シンクレア夫人の末裔である、ロビンソン一家がこの島を所有している。

島に出入り出来るのは原則としてロビンソン一家の関係者だけで、一般人の出入りはなく、

島民への接触は招待された者以外は認められていない。

島民は独自の言語を使用し、村落で古来からの伝統的な生活を送っている。



**看守の男
ヨシオ**

島の支配者の代理人として、
島民を監視している。
島民からは「看守」と呼ばれている。

岩田裕耳

(電動夏子安置システム)



**教師の女
ウメ**

ヨシオの妻。
島民には家族のように接している。
善意で自国の文化の普及に努めている。

新野アコヤ

(電動夏子安置システム)



**通事の男
イシマツ**

代理人の補佐を長年にわたり務めている。
島の言語や文化には詳しく通訳を兼ねている。

小原雄平 (電動夏子安置システム)

**牧場の男
ジム**

牧場での労働に従事する生真面目な男。
強引な行動をとる妹には手を焼かされている。

片桐俊次

(電動夏子安置システム)

**地主の男
ハウリア**

牧場と農園の労働を仕切る、島民のリーダー格。
島民には横柄だが、代理人には嫌ひへつらう。

ドロズ石本



**農場の女
レイ**

ジムの妹。農場での労働に従事している。
海岸に漂着した男を連れ帰り、介抱した。

大野ひろみ



**給仕の女
アリナ**

ハウリアの妹。屋敷のメイドとして労働している。
屋敷での情報を、すぐに島民に喋ってしまう。

犬井のぞみ (電動夏子安置システム)



不明の男
アラタ

島に漂着し、島民に助けられた男。
自分が何者であるか、名前以外の記憶を失っている。

日向翔梧 (株式会社 ALBA)



新任の男
マツダ

新しい「代理人」として迎え入れられた男。
記憶を無くした男に出会い、島の内情を説明する。

風間庸平

神官の女
ミキ

ベニヘカの妻。神官をしていた一族の出身。
夫との因習による結婚には納得していない。

小舘絵梨

長老の男
マウナ

老齢だが、見た目は何故か若々しい男。
島一番の知恵を持ち、内外の情報にも詳しい。

町屋圭祐

(劇団昴)



酋長の男
ベニヘカ

かつて島を治めていた一族の末裔の男。
プライドが高く、島では何も労働をしていない。

道井良樹 (電動夏子安置システム)



漁師の男
カイ

漁業の労働に従事する逞しい男。
面倒見がよく行動力があるため、島民の信頼は篤い。

塚原直彦 (劇団モンキー☆チョップ)

【脚本/構成/演出】竹田哲士 【演出補】道井良樹 【舞台監督】川崎耕平(ステージハットリザウルス) 【舞台美術】神田長武(ハカマ団)
【音響】佐久間裕一 【音響オペ】和田匡史 【照明】若原 靖(LIGHT-ER) 【衣装】新野アコヤ 【小道具】小原雄平 【宣伝美術】岩田裕耳
【スチール撮影】佐藤洋一(株式会社シナト・ビジュアルクリエーション) 【映像撮影】岡 俊輔(株式会社シナト・ビジュアルクリエーション)
【WEB】竹田哲士/小原雄平 【総務】じょん 【制作】道井良樹/じょん 【制作協力】西村なおこ 【企画制作】電動夏子安置システム
【協力】NPO 法人 SAJ/セノグラフィックアート研究所/演劇集団アクト青山/株式会社 ALBA/株式会社シナト・ビジュアルクリエーション
株式会社マセキ芸能社/カルテックオンライン/カンフェティ/劇団昂/劇団モンキー★チョップ/豪華!刺身盛り/合同会社 LIGHT-ER
スターダス・21 /ステージハットリザウルス/宝井プロジェクト/日本コメディ協会/ハカマ団/舞台美術研究工房 六尺堂/名酒センター
(有) オンディーナ/四ツ山フェスティンガー/渡邊 卓/駅前劇場

【出演者の活動情報】

【犬井のぞみ】

■外遊

『ねこ温泉旅行 in 伊豆』
2018.2.27 ~ 2.28

【岩田裕耳】

■出演/総合演出

四ツ山フェスティンガー Op.2
『鑑視』
2018.6.27 ~ 7.1

@ ステージカフェ下北沢亭
四ツ山フェスティンガー twitter→@yotsufes

【大野ひろみ】

■ラジオ出演

かわさき FM『岡村洋一のシネマストリート』
レギュラー映画レポーター

■ショップ

『hiromin goods shop』
ひろみん扮するオーノ画伯の
とんでもないイラストのグッズショップ。
"ひろみん グッズ" で検索!!

大野ひろみ Twitter→@hiromin_ohno

■アイドル活動

『そめいよしの』
マリオンクレーブ原宿竹下店サポーターアイドル
SHOWROOM 公式『そめいよしのお花見ルーム』
毎月第 1,3 土曜日 19 時 ~ 20 時
"そめいよしのお花見ルーム" で検索!!

【小原雄平】

■出演

TOHOKU Roots project Vol.2
『星の祭りに吹く風』
東京公演の回替わりキャストで出演
2018.4.4 ~ 4.10
@ 東池袋あうるすぽっと

【風間南平】

■出演

LIPS+S 2018 Spring Musical
『旋律テロル』
2018.3.21~3.25
@ 新宿村 LIVE

風雲かぼちゃの馬車ミュージカル vol.1
『二都物語 -A tale of two cities-』
原作:チャールズ・ディケンズ
2018.5.24 ~ 5.27
@ アルテリオ小劇場

【小館絵梨】

■出演

気まぐれ倶楽部 in 谷根千 Vol.7
10 周年記念公演
『やなか・せめたりい・くろにくる』
2018.4.26 ~ 4.30
@ 旧平橋田中邸(大正 8 年築)

【塚原直彦】

■コント脚本/出演

劇団モンキー★チョップ 第13章
『13 階段』
2018.4.24 ~ 4.29
@ 渋谷ギャラリー・ルデコ 5F

■ホボホボ映画同好会

新大久保ホボホボにて定期開催中

塚原直彦 Twitter→@monkeychop_0903

【ドロズ石本】

■出演

『古今狂言会』
2018.3.18
@ 国立能楽堂

テレビ東京『なないろ日和』

日本海 TV『金曜スパイス』

■ラジオ出演

FM 茶っぴー『メロータッチ』
毎週金曜日夜 12 時~

■連載

日刊ゲンダイにて
『ドロズ石本のラーメン旅』
毎週火曜日発売

【電動夏子安置システム】

■イベント出演

『JOIN!2 ~コメディユニットフェスティバル~』
2018.4.3 18時 50分開演
@「劇」小劇場

■次回公演

第38回公演
『殉情わりだす演算子』
2018.5.23 ~ 5.27
@ 赤坂 RED/THEATER

電動夏子安置システム 次回公演

第38回公演

『**殉**情わりだす演算子』

2018年5月23日(水)～27日(日)

赤坂 RED/THEATER



脚本／構成：竹田哲士 演出：戸田武臣 (TABACCHI)

出演：小原雄平 **じょん** 道井良樹 新野アコヤ 片桐俊次 犬井のぞみ 他

ROBINSON
CRUSOE

3483

